

だっこだっこあみだっこ

ぼく・わたしを育てるほとけのことは
—大事 (いちだいじ) —なぜこの世に生まれたの?—



菜園日記

やさいのハテナ

—だいこんのハテナ—

平成 30 年

3.4
月号

東山浄苑東本願寺発！パパママ子どものフリーペーパーだっこだっこあみだっこです！
あみださまは、おかあさんの「だっこ」のように、あたたかくわたしたちをみまもって下さっている—
そのことに気づいたとき、わたしたちは安心して、自信をもって生きていけます。

未来をになう子どもたちは社会の宝もの。その子どもを育てる子育ては、とても尊い大事な
ことです。いい子になってほしい、と思いつつも、ほんとうのやさしさ、かし
こさ、強さってなんだろう？ —ほとけさまのみ教えが、悩めるパパ、ママのともしびに
なりますように。 ぜひ、ご家族みなさんでお読みください♪

FREE Paper

ぼく・わたしを育てる ほとけのことば

今月のことば：「**一大事**（いちだいじ） —なぜこの世に生まれたの？—」

仏教には、今のわたしたちにとって、あたたかなともしびとなることばがたくさんあります。

「ほとけのことば」から、わたしたちの日々のくらしの目標をかんがえてみましょう♪

一大事って大変なこと？

今月のテーマは「一大事」です。ニュースなどで耳にする機会も多い言葉ですね。

皆さんはこの言葉を聞いて、どんなイメージが浮かびますか？ きっとあまり良くないことが起こったんだなあと思うおともだちもたくさんいると思います。というのも、現在だと、「たいへんだ！ 一大事だ！」や「人生の一大事」と言ったように、簡単には解決できそうにない、あまりよくない重大な出来事が起こった時に、この言葉を使うことが多いからです。

ですが、仏教で「一大事」というと、別の意味の言葉になります。では、どんな意味なのでしょう？



ほけきょう 語源は法華経



「一大事」という言葉の語源は『法華経』というお経にあります。このお経に、「諸仏世尊は唯一大事の因縁を以ての故にのみ世に出現したもう」とあって、「仏さまやお釈迦さまは、ただ一つの大事を成されるためだけに、この世にお生まれになるのだ」という意味です。この「ただ一つの大事」こそが「一大事」なのです。仏さまやお釈迦さまがこの世においてになったたった一つの理由、つまりもっともたいせつなことを指しています。

仏さまやお釈迦さまにとって、もっともたいせつなことは、



それは、私たちを一人もらさず救うことです。

仏さまやお釈迦さまは、この「一大事」のため、すなわち私たちを一人もらさず救うためにおいでになりました。

ごしょう いちだいじ 後生の一大事

今よりずっと昔、蓮如さまというお坊さんがいらっしゃいました。蓮如さまは、混乱した時代にあって、明日をも知れぬ毎日過ごす人々に、「ただただ『後生の一大事』を心にとめよ、信心をえなさい」と何度もくりかえしお説きになりました。「後生の一大事」の「後生」は仏教のことばで、反対の意味のことばは「今生」といいます。

今生と後生

「今生」とは、この世のことで、生きている今の、私たちの世界で、「後生」とは、この「今生」の「後の生」、つまり命が終わった後、死んだ後のことです。私たちは、死んだらいったいどうなるのでしょうか？ 迷いと苦しみの世界を生まれ変わり死に変わりし続けるのでしょうか。それとも…？

これに対して蓮如さまは、次のように教えて下さいました。「生きている今（今生）は、阿弥陀さまの本願を信じて、信じるよろこびをいただき、感動と感謝の気持ちで御念仏のくらしを送ろう。死んだ後には、阿弥陀さまが必ず救って下さり、み仏のおさとりをいただいて、お浄土に生まれさせて下さるのだよ」—

「後生の一大事」とは、私たちが命尽きた後、阿弥陀さまが必ず救って下さり、お浄土に生まれさせて下さることです。

蓮如さまは、「人間として生きるのは、夢やまぼろしのように短い間のことなのだ。また、今朝元気であっても夕方には死んでしまうこともある、いつ終わるかもわからないのが今生なのだ。だからこそ、信心をいただいて、感謝の心で『南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏』とお念仏申し上げて、阿弥陀さまに救っていただき、死後、お浄土に生まれさせていただくことが大切なのだ」と教えて下さいました。

私たちにとっての「一大事」、私たちがこの世に生まれた目的は、「信心、つまり阿弥陀様がお救い下さると信じる心をいただき、お浄土へ行くこと」だということです。

なぜこの世に生まれたの？

私たちは何のためにこの世に生まれたのでしょうか？ それは「しあわせ」になるためです。では「しあわせ」って何でしょうか？ それは、蓮如さまの言われたように「信じる心をもつ」ことなのです。阿弥陀さまが、「信じる者をかならず救おう」と言って下さったことを、心からたのびでよろこぶ毎日を過ごすことです。

でも、死んだあとのことなんてわからないじゃないか、生きている今、目に見えるものしか信じられない！という人もいるかもしれません。「ほしいおもちゃを手に入れること」「おともだちにたくさんかまわれること」「仕事で成功すること」「お金をたくさん手に入れること」がしあわせ—ほんとうにそうでしょうか？

ほんとうのよろこび、人生の「一大事」

この世の中に変わらないものは何ひとつありません。ずっと続くこともありません。それに、私たちは、目に見えるもの、事実の連続だけで満足できるでしょうか？ 現実世界だけがすべてなら、どうして私たちは、事実でないまんがや小説、映画や音楽の世界を楽しむのでしょうか？ この世を越えた世界に、「ほんとう」がある、「感動」があるからではないでしょうか。信心の世界も同じことです。この世をこえた広い世界がある、わたしたちの想像もこえた「感動」がある。そのことに気づいたとき、私たちは、人生の「一大事」を知ったよろこびをいただきながら、自信をもって生きていけます。みなさんも、心がよろこびでいっぱいになる「一大事」を、たくさんものものに

ふれながらみつけていきましょう。



蓮如さま



だっこだっこあみだっこは、毎月東山浄苑東本願寺で開催している「親子仏法の集い」の活動内容をもとに編集しています♪

親子仏法の集い - 仏法に親もう 土に親もう! - ってなあに？

毎月第3日曜日(行事等で変更の場合あり)に、東山浄苑東本願寺の菜園で行っている親子向けの活動。なんでもありがたいので、粗末にしない—古きよき日本人を育てた仏教の教えです。

家族で野菜づくりや年中行事に親しみ、「いただきます」「ありがとう」の豊かなこころを育てましょう。乳幼児から中学生までのお子さんご家族はどなたでも参加できます。お気軽にお尋ねください!



【活動日】 1月～3月は花まつり練習のため変則になります
詳しくは東山浄苑までお尋ね下さい

【場所】 東山浄苑東本願寺

※ベビールーム完備 ※屋内無料駐車場完備 ※参加ご家族30組限定

★お問い合わせ・参加のお申し込みは★
東山浄苑東本願寺 総合受付

電話 **075-541-8391** 毎日 9:00～17:00



月2回
活動があります!

— 参加者募集中! 今後の親子仏法の集いご案内 —

4月1日(日)

10:00～12:00

【活動内容】

子ども奉納会 (嘆仏偈【お経】のおつとめ) 練習

4月22日(日)

10:00～12:00

【活動内容】

子ども奉納会 (嘆仏偈【お経】のおつとめ) 練習 & リハーサル

【場 所】 東山浄苑東本願寺内

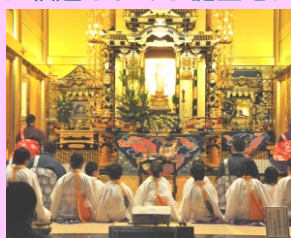
※参加ご希望の方は事前にお電話でお申し込みください。

【参加費】

- 花まつり子ども奉納会に参加する方…練習初回参加時に 10,000円 (1月～4月練習費+当日参加費)をお支払下さい (詳しくはお尋ね下さい)。
- 花まつり子ども奉納会には参加しない方…初回参加無料 / 1家族1ヶ月 1,000円

東山浄苑東本願寺 **花まつり** 平成30年4月29日(日) 開催!

かわいいお稚児さんのお練り、子どもたちによる法要おつとめで、お釈迦さまのご誕生をお祝いします♪



お稚児さん参加希望の方はお気軽にお尋ねください!

だっこだっこあみだっこ 平成30年3・4月号

平成30年3月20日発行 発行・印刷/東山浄苑東本願寺 〒607-8461 京都市山科区上山山旭山町 8-1 電話 075-541-8391

無料